



mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

「命を大切に！」緊急全校集会で訴える！！



16日の夕刻、一本の電話がありました。内容は、中学生男子数名が、スマホをしながら自転車に乗っていて軽トラックと衝突する寸前だった、というものでした。お叱りの電話ではなく、安全面からの心配をされてのありがたいお電話でした。軽トラックの運転手さんではないですが、すぐ近くで見ていて、「ぶつかった！」と思えるくらいの状況だったそうです。幸い、接触はしておらず大きな事故にはならなかったわけですが、これは「よかった。よかった。」で済ませられる問題ではありません。

そこで、17日の朝、緊急の生徒朝礼を行い、全校に注意しました。生徒指導主事の森先生が、事実を伝えた後、「命を大切にすること」を、本当に心の底からの思いを伝えるように言葉を振り絞って訴えました。みんなとても真剣に聞いていたようです。

続いて私も前に立ち、先日教え子を亡くした話から、「順番を間違えるな」「残った人に悔しい思いをさせないこと、それが一生懸命生きるということ」という話をしました。

その後各学年に分かれて、それぞれ担当が思いを伝えました。



残念な出来事ではありましたが、幸いケガなどはなかったもので、これをきっかけに、「ピンチをチャンスに！」の思いで、様々なことを改善していきたいですね。イヤいってください、いかねばなりません。



これが伊里中のチーム力 (自慢)



とても嬉しいことがあったので、ちょっと自慢になりますが(笑) 紹介します。

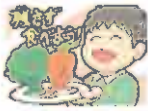
現在16名が参加しているサタスタですが、タブレットを使いたいので教室を使わせてほしいという依頼がありました(緑陽会館にはアクセスポイントがないので)。

学習に関することなのでオッケーしましたが、現在アクセスポイントがあり使える空き教室は、南棟2階西端の少人数教室のみです。しかし、この教室には、机も椅子もまったくない状態なのでした。

さて、どこから机と椅子をかき集めようと考えていたら、「あそこに〇〇個ありますよ」「あそこにもありますよ」と、すぐに先生たちが教えてくれます。その場所を確認して調整しようと思っていたら、「あ、掃除の時間を使ってやっておきますよ。」と軽く言ってくれる先生も。

そして、掃除が終わって行ってみると、アラ不思議。写真のようにアッという間に教室に出来上がりい〜となっていました。生徒たちがセッセッセと運んでくれたそうです、しかも拭き掃除までしてくれていました。

頼まれても「面倒だなあ」と思うことの多い私ですが、このように頼まれなくとも、好意から進んでやってくれる雰囲気、とてもステキです。すごく気持ちのいい出来事でした。幸せな気分です♡



石原さ〇み似の大嶋先生（笑） 教室で熱弁



現在、給食の残量調査を行っていますが、残量について心配された調理場の栄養教諭の大嶋先生が来校。先日は1年生、この日は3年生の教室を回って指導をされました。

その前に職員室に寄られた際。「この前1年生の〇〇君に、石原さ〇みに似てるって言われたんですよお〜」と嬉しそうに仰る。更には、「備〇中では、大島〇子って言われました〜。ガッ〇ーにも似てるって」と、オイオイどこまで行くんだ！と言うくらい絶好調で語られました。だいたいその3人、全然顔違うじゃん（苦笑）！ゴメンナサイ大嶋先生。（謝…実はちゃんと掲載許可はとってます。）

さて、片や生徒諸君。こんなステキな先生のお話ですから、しっかりと聞いたことと思います。栄養面を考えて、給食は残さず食べるようにしましょう。



生徒会が意見箱を設置



生徒会がいろいろと考えて活動を開始しています。まずは新たに「意見箱」が設置されました。

意見箱って、実はその学校のレベルが問われるものだと思います。いたずらのようなものばかりが入れられ、撤去を余儀なくされることもあります。もちろん、意見箱に入った意見が元で、大きな成果をあげた例もあります。さて、今年度の伊里中学校はどうだ！？当然後者ですよ。

「明星第8号」には、多くの思いが込められていました。生徒のみなさん、しっかり読んでください。こういう思いの綴られてものをしっかり読めるかどうか、それもまたレベルが問われることだと思います。

新しい絵手紙が来た！イカも来た！！



また新しい絵手紙を貼り替えに来てくださいました、感謝！です。

そして作品をジッと見ていると、今回一番目に留まったのは「これ」でした。そう「イカ」です2年生のみんな（笑）。「あらあらいか墨で真っ黒だよ」。先日、は確かに手を真っ黒に染めて頑張っていましたよね。まさに「旬」を表す絵手紙です。

二十四節気 立 冬

末候「金盞香し（きんせんこうばし）」11月17日～21日頃

水仙の花が咲き、かぐわしい香りが漂う頃。金盞とは金色の杯を意味し、黄色い冠をいただく水仙の別名です。